夕刊 常磐毎日
発行所
平市田町75番地
常磐毎日新聞社
電(代表)2104—2105番

おすすめできる
毛布と毛糸
トーア・スズラン
洋品の中野
平・2 電2053

新産業都市の構想

各市とも特殊性生かし

五市案まとまる

事業費二千四百三十一億円

新産業都市の構想は五十五年までに常磐地区（石城郡下市町村、双葉郡久之浜、大久を含む）の人口五十万とする広域都市建設計画が各市町村別まとめられた。それによる五市の事業構想は総事業費が二千四百三十一億五千八百六十八万円という莫大なもので市別に見ると平市の九百十四億五千万円、勿来市の五百三十五億五千七百万円、磐城市三百九十六億八千九百五十万円、内郷市が三百四十一億八百四十万円、常磐市の二百四十三億五千三百七十万円となっている。各市の立場から将来の構想を工業地帯、住宅地帯、産業道路などに分類してまとめているが平市の場合は五十万都市の消費センターのためのアーケード街建設、夏井、高久、飯野地区の都市公園、石森山の温泉都、市民会館、市庁舎をはじめ高校、国立大学〝スポーツセンター〟中央公民館などを旧平商校あとに建築、また鉱害復旧事業などがあげられている。

勿来市　は現在の四万八千の人口を、五十五年には十万人と想定のもとに道路及び港湾の拡充を計り市勢発展の基盤をつくる。産業道路としては磐城市町村とを結ぶ全県道を改良するため総工費五十三億五千万円を投じて、道路改修、立体交差二カ所を設けるほか海岸一帯に防波ていの設置、住宅の建築六千戸、金山ゴルフ場の設立、ボートレース場艇、勿来港から海岸まで一キロのケーブルカー、その工費百十六億九千七百八十万円を見込み生産品の輸出、原材料の輸入など同港の利用度は大きい

内郷市　は人口として三万二千五百人の人口増で一戸当り平均四・五人として七千戸の住宅を建設（公営二千戸、公団三千戸、民間五千戸）する。厚生福祉施設では精薄児童通園センター、老人センターの建設、観光施設では三体明神の山復に観光と用水を考えた人造湖を設け頂上付近の大スロープを利用してローンスキー場を開設する。

常磐市　は工業用施設として湯本団地（岩ケ岡、馬士地区）として百六十六万二千平方メートルを設けるほか小野田団地（上湯長谷字力石）として三・三ヘクタールを見込まれている。工業用水道は第一期拡張として下湯長谷浄水場に、公園、墓地（六〇三百五十戸、市営一百三十戸、公団住宅三千戸（県営）公庫住宅一千戸（同）一般住宅一千四百九十）万円を投じる。県営住宅、

磐城市　磐城市は平市と同様二十万人口に増加を見込み、当然それにともなう宅地造成、住宅の建設、水道事業の拡張、交通の便など、公園、墓地（六〇三百五十戸、市営一百三十戸、公団住宅三千戸（県営）公庫住宅一抗入口）鮮魚市場の建せつに五千万円を見込んでいるほか、青年の集合港湾整備計画を骨子に、港湾整備促進同盟会で

防波堤拡張など

港湾整備促進を協議

築港促進同盟会総会はこのほど磐城市役所会議室で谷口県港湾課長、呉羽工務、日本水路などの関係者が集まって開いた。会議はまず三代市長から「三十一年度の国物取扱量は九十一万トンにのぼり、三十五年度には特定港湾となり、現在は石炭埠頭、石油配分基地などの造成を急いでいる。」との挨拶のあと松平参議員から「港湾発展には道路の整備が急務である。国会でも早急なる完成に努力している」との説明があって懇事に入った。

三十五、六両年度の予算、決算のほか小名浜築港促進同盟会総会はこのほど磐城市役所会議室で谷口県港湾課長、呉羽工務、日本水路などの関係者が集まって開いた。会議はまず三代市長から「三十一年度の国物取扱量は九十一万トンにのぼり、三十五年度には特定港湾となり、現在は石炭埠頭、石油配分基地などの造成を急いでいる。」との挨拶のあと松平参議員から「港湾発展には道路の整備が急務である。国会でも早急なる完成に努力している」との説明があって懇事に入った。

三十五、六両年度の予算、決算のほか小名浜築港促進同盟会総会はこのほど磐城市役所会議室で谷口県港湾課長、呉羽工務、日本水路などの関係者が集まって開いた。会議はまず三代市長から「三十一年度の国物取扱量は九十一万トンにのぼり、三十五年度には特定港湾となり、現在は石炭埠頭、石油配分基地などの造成を急いでいる。」との挨拶のあと松平参議員から「港湾発展には道路の整備が急務である。国会でも早急なる完成に努力している」との説明があって懇事に入った。

三十五、六両年度の予算、決算のほか

地建第二庁平方メートルを三千七二墨二頭を建設するほか。道路、港湾整備促進を協議した。三千七年度に完成させ、さらに三千八年度から四十年度までに約十万平方メートルの埋立用地を造成して上

港町に適した店へ

経営指導 研究所長 招き経営を診断

磐城市商工会議所では東京商工経営指導研究所長案田正夫氏を招き、商工、港の町にふさわしい明るくそして買いよい店舗に改善するのが目的で行なうことになった。これは、名実ともに小名浜商工、十五、十六の二日間市内中央商店街の経営診断を行なうことになった。

産業都市の計画

六日から 北村委員長ら調査

常磐地区の広域都市建設計画がこの（ほど）きまり、工場適地のうち四十五年までに充当できる土地は石城地方の十二万市町村と双葉郡の久之浜、大久村を含めた七百四十一万八千四百平方メートルに達することがわかったが、郡山、常磐両地区の産業拠点都市建設計画調査委員会である財団法人国土計画協会の北村徳太郎委員長ら委員、研究員一行十四人が六日来磐、午前十時から県石城事務会議室で各市町村が樹立した計画についての調査などを実施することになった

地切（市城磐）部落に点灯

三年ごし陳情みのる

磐城市の無灯火部落であった同市一（喜ばせている。これは三年越しの陳情の末に送電されることになったもので、二百は五十八万円。永崎字地切地内の河野速次さん（四七）方など五戸にきのう一日午後一時から電灯がつき、住民たちを

住宅の起債を承認

磐城市議会きのう終る

磐城市臨時市議会は一日開き、日（するための一千万円起債と塩化学本水素の住宅建設資金として融資が要請した同市下川の殿原川と宝珠川合流点の公有水面埋立その二議案を原案通り可決して後三時閉会した。

働く婦人の労働講座

9日飯坂に開く

県主催の〝働く婦人の労働講座〟は八、九の両日飯坂町の吾妻荘で開かれるが、婦人労働組合員、一般勤労婦人など約六十人を募っている。受講料は百円で希望者は平市役所へ申し込むこと。日程などは次のとおり。

▽八日＝午後一時「働く婦人の当面する問題」労働省婦人少年局労働課長大羽綾子、午後三時半から大羽講師を囲んでの座談会。

▽九日＝午前九時「日本経済の動向と婦人労働」労働省婦人少年局労働課長大羽綾子、午後一時半「婦人労働者の福祉」県労働部婦人少年課長。

母、姉の盛装の日

学芸会、卒業式近ずく

学芸会、卒業式は母の盛装の日とでも申すべきか。女も男もみすぼらしいのはいけない。できるだけ美しくありたいものだ。がものには程度がある。タンスの中で化されたのは見るからに結構な着物でも、生活の補償をしろ、藤炭地失業者を救えと、つぎからつぎとオンブすることになる。このオンブ地帯がいつどこにできるか予測できないが、こうした場合に備たきり便では困る。何とか自立できる用意もしなくてはなるまい。学校の行事に父兄がどんなに華美を競っても、先生がただけは巻き込まれたくないものだ。毎月の俸給を投入して華美競演を若い先生方にやられては大変なことになる。

▼▼どんなに質素にしていても先生は先生で、父兄や児童から尊敬されるにきまっている。その節度を誤まらぬようにしたいものだと思っている。殊に学校ほど上から下まで格差の多い階層はない。それは義務教育という立場から裕福な家庭も、生活や教育、医療の保障をうけている家庭の児童が在籍していることに気付くからである。

▼▼移民は開拓条件が悪いためドミニカから大量に、大きな希望を捨て着のみ着のまま帰国している。ドミニカ移民に似たり寄ったりの移民ならざる移民が身近にもあることに気がつくのである。中、小炭鉱の整理がいま問題となっている。数の上ではドミニカ移民どころの騒ぎでないわけだ。政府でオンブしろと叫んでいる。オンブする気でもある。いつもどこかでオンブしようとしている。

▼▼高潮や豪雨でノリが全滅した。小舟曳揚げ場がなくなった。

はやくも小、中校の学芸会のはしりが始まった。毎年二月に入るとどこの学校でも学芸会の行事であるが、あすは寒あけ立春だ。が春といっても寒さは一層厳しい。空気も乾燥して風邪も流行り出す頃である。火気のない広い講堂で出演の児童や生徒は衣装替えをすることになる。体の調子の良い者は感冒にも罹るまいが、調子のおかしい者は病気に冒され易い条件にあるわけである。親が不安であることに気づいて、出演せぬように注意しても、劇の配役の関係から子供はむりしても出演することになるだろう。

▼▼そんな関係から気候ことにみ合わせて会を開催しては恩的となっていた。成人の日は娘の盛装の日であれば、学芸会と卒業式は母の盛装の日とでも申すべきか。女も男もみすぼらしいのはいけない。できるだけ美しくありたいものだ。がものには程度がある。タンスの中で化されたのは見るからに結構な着物でも、生活の補償をしろ、藤炭地失業者を救えと、つぎからつぎとオンブすることになる。このオンブ地帯がいつどこにできるか予測できないが、こうした場合に備たきり便では困る。何とか自立できる用意もしなくてはなるまい。学校の行事に父兄がどんなに華美を競っても、先生がただけは巻き込まれたくないものだ。毎月の俸給を投入して華美競演を若い先生方にやられては大変なことになる。

▼▼どんなに質素にしていても先生は先生で、父兄や児童から尊敬されるにきまっている。その節度を誤まらぬようにしたいものだと思っている。殊に学校ほど上から下まで格差の多い階層はない。それは義務教育という立場から裕福な家庭も、生活や教育、医療の保障をうけている家庭の児童が在籍していることに気付くからである。

豚小屋から出火

原因保温器の過熱から

一日午後六時ごろ平市中塩字岸三九、農業関場益さん（七）方の豚小屋から出火、同小屋二六・四平方メートル、稚豚さの肥料小屋四九・五平方メートルを全焼して同六時二十五分ごろ鎮火した。原因は豚小屋の電熱器の過熱と見られ、損害は二十万円。

草野では藁ボッチ焼く

一日午後四時四十八分ごろ平市草野泉崎字砂田五〇、農業松本隆義さん（三）方の藁ボッチから出火、藁五百束を焼やし鎮火した。損害五百円、原因は平署で調べている。

インネンつけ殴る

暴力運転手を逮捕

磐城署は二日、磐城市定西運転手草野八郎（三）を傷害容疑で逮捕した。昨年十二月十八日二後八時ごろ北茨城市磯原町の磯原トンネル付近を自動車で通行中、小型四輪車ですれちがった平市薄磯須賀渡辺幸吉さん（四）にインネンをつけ殴り、顔面に一週間の傷を与えたもの。

呑み倒してつかまる

磐城署は二日、岩手県生まれ、住居不定無職鶴飼康男（三）を無銭飲食現行犯で捕まえた。同日午後八時半ごろ磐城市辻名字江ノ浦の料理店「潜ノ家」ことで倍額置雄さん方でビールなど七百円相当を飲み倒したもの。

三人組で暴行喝取

腕時計など七千円を

磐城署は一日、宮城県生まれ、漁夫前科三犯佐々木平八郎（三）と磐城市古港地内の路上で北海道生まれの浅沼磯吉さん（三）など二人にインネンをつけ、顔面に一週間の傷を与えたほか腕時計、指輪、手袋など七千円相当をおどし取ったもの。

誤って海に転落

死体浮かばず捜査中

磐城署小屋内四、志賀栄さん所有のナワ船等栄丸（九トン、志賀さん四人乗組）が二日午前三時ごろ磐城市江名港沖合で操業中、志賀陸さん（三）が誤って海中に転落、平第一小学校の二月行事予定は次の通り。

▼二日＝交通安全指導▼十二日＝学芸会▼十三日＝婦人学級▼十六日＝PTA施設部巻仕作業▼二十日＝PTA他校参観▼二十二日＝避難訓練▼二十四日＝校外補導。

磐城市で料理の講習会

磐城市泉公民館では次の日程で磐城保健所員谷川陽子さんを招き料理講習会を開く。

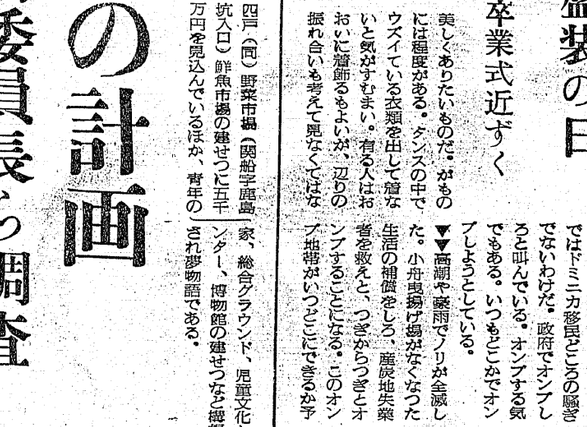
▽十六日＝泉公民館、午前九時から、同日午後一時から玉露公民館、同日午後一時黒須野上遠野みどりさん宅▽二十二日午前九時泉町佐藤美佐子さん宅、同日午後一時滝尻公民館。

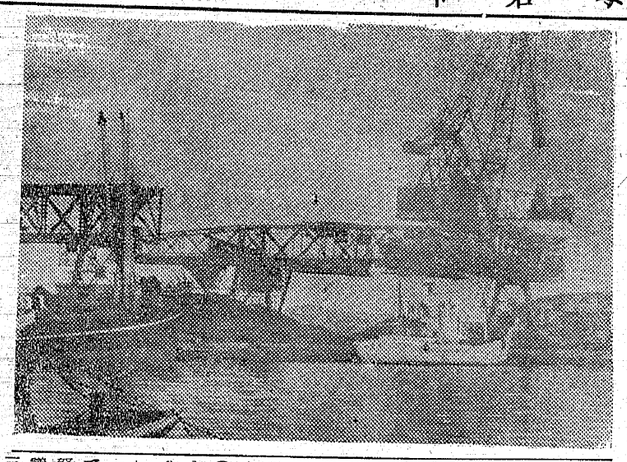
火災御見舞御礼

昨一日午後六時頃の出火に際しては早速お眺け付け下され消火にご尽力を賜わり御陰様にて大事に至らず誠に有難く厚く御礼申し上げます。

尚、混雑にとりまぎれ御芳名伺い洩れもあることと存じますので紙上を以って御礼申し上げます。

平市中塩字岸三九
関場益一





立春

あすは節分、あさっての四日は立春、五日は旧正月、寒さはきびしくとも、強い光線は明るさをましてきた。春らしい感じが深いきびしい冷気に耐えた草木にも、よみがえる春を知らせてか、日向の猫柳も綿のような新芽をふくらみはじめてきた。

閻魔帳

はやくも小、中校の学芸会のはしりが始まった。毎年二月に入るとどこの学校でも学芸会の行事であるが、あすは寒あけ立春だ。が春といっても寒さは一層厳しい。空気も乾燥して風邪も流行り出す頃である。火気のない広い講堂で出演の児童や生徒は衣装替えをすることになる。体の調子の良い者は感冒にも罹るまいが、調子のおかしい者は病気に冒され易い条件にあるわけである。親が不安であることに気づいて、出演せぬように注意しても、劇の配役の関係から子供はむりしても出演することになるだろう。

▼▼そんな関係から気候ことにみ合わせて会を開催しては恩的となっていた。成人の日は娘の盛装の日であれば、学芸会と卒業式は母の盛装の日とでも申すべきか。女も男もみすぼらしいのはいけない。できるだけ美しくありたいものだ。がものには程度がある。タンスの中で化されたのは見るからに結構な着物でも、生活の補償をしろ、藤炭地失業者を救えと、つぎからつぎとオンブすることになる。このオンブ地帯がいつどこにできるか予測できないが、こうした場合に備たきり便では困る。何とか自立できる用意もしなくてはなるまい。学校の行事に父兄がどんなに華美を競っても、先生がただけは巻き込まれたくないものだ。毎月の俸給を投入して華美競演を若い先生方にやられては大変なことになる。

▼▼どんなに質素にしていても先生は先生で、父兄や児童から尊敬されるにきまっている。その節度を誤まらぬようにしたいものだと思っている。殊に学校ほど上から下まで格差の多い階層はない。それは義務教育という立場から裕福な家庭も、生活や教育、医療の保障をうけている家庭の児童が在籍していることに気付くからである。

▼▼移民は開拓条件が悪いためドミニカから大量に、大きな希望を捨て着のみ着のまま帰国している。ドミニカ移民に似たり寄ったりの移民ならざる移民が身近にもあることに気がつくのである。中、小炭鉱の整理がいま問題となっている。数の上ではドミニカ移民どころの騒ぎでないわけだ。政府でオンブしろと叫んでいる。オンブする気でもある。いつもどこかでオンブしようとしている。

▼▼高潮や豪雨でノリが全滅した。小舟曳揚げ場がなくなった。藤炭地失業者を救えと、つぎからつぎとオンブすることになる。このオンブ地帯がいつどこにできるか予

石炭予算増額要求大会

四日平市で

全国石炭鉱業労働組合常磐地方本部（佐藤重蔵支部長）は四日午前十時から平市公会堂で石炭予算増額要求平地区大集会を開き、石炭産業の危機打開を協議、長期化した炭鉱対策と具体的施策を政府と国会に要望する。

電気アイロンとスタンド
三幸デパート
平市三丁目電四九三二

PTAで学校給食舌つつみ

磐城市の小名浜二小（高木慶治校長）はこのほど全国給食週間にちなみ、PTAの評議員を集め、今後の運営などを話し合ったあと、児童の食べる給食に舌づつみをうった。同校の給食は去る二十七日から実施され、市内で最初のものだが、完全給食ではなく将来は完全給食にしたいと趣旨をすすめている。

今晩の食卓 市況

（単位キロ当り円）　一百

▽ダイコン	八一	三
▽ネギ（束）	二一一	〇
▽〃	四三一三〇	
▽ハクサイ	一四一	六
▽キャベツ	二一一	三
▽ホウレン草（束）	二一一	五
▽アブラナ	四一	一
▽トツクリイモ	五〇一二〇	
▽シイタケ	三〇〇一三〇〇	
▽春ギク	四一	三
▽カリフラワー（一コ）二〇一一五		
▽タマゴ	一一	九
▽ミカン	八五一七五	
▽リンゴベニダマ	四五一二〇	
▽デリシヤス	五〇一三〇	
▽バナナ	二四〇一二〇〇	
▽キユウリ（一本）	二〇一一〇	
▽夏ミカン（一〇K）	一〇〇〇一五〇〇	
▽コツコー	一〇〇〇一六〇〇	
▽インド	二〇〇一八〇〇	
▽カブ	七一	四
▽ニンジン（K）	二六一	〇
▽ゴボウ	三八一	一五
▽サトイモ	三五一	〇
▽サツマ	一五一	〇
▽丸ダイコン	八一	三
▽バレイショ	三七一	〇
▽キリイモ	三〇一	〇

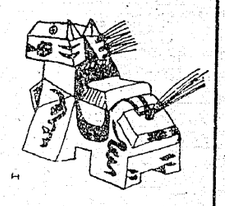
（写真は給食に舌づつみをうつPTA）

カメラは田中
さくらフイルム
皆様のカメラ店
平・公会堂際
厚生省許可
開花亭の強化食パン
フドーパン
平市五丁目電2342 6342
山一
平市紅小路 電四七六四
越
鬼をもひしぐリキを生む！
藤越
平市
青バタ大豆　五百グラム　一袋　五五円
袖ふり大豆　〃　一皿　七〇円
カラつき落花生三百グラム　一皿　五〇円
ホオザシいわし（大羽）一皿　五〇円
〃（中羽）一レン　二五円
メザシ
みかん（西浦産）百グラム　九円、十円
食堂コツク見習募集（洋食、中華、すし、和食、喫茶）
30から力あふれる人生を
女は30、男は40からの強壮剤
ドックマン
3錠が力を合わせ一段と効力を高める……
白色錠……精力をもりあげる
黄色錠……活力を高める
褐色錠……臓器を強め体力を増す
一五〇円から
あこう
平ぎんさ 電2044
寒い時はこれにかぎる…
寒風の吹く時鍋をつついてたべる味は日本人ならでは味わえぬ美味…「さかえ」では皆様のご来店をお待ちいたしております
自慢の鍋料理
義経焼　牛若弁慶　一枚一五〇円
募集　女子事務員・女店員　若干名
昼夜通しのお食事処
駅前中央 さかえ TEL 2988 4644
江戸前 出前・折詰・迅速調達
立喰 太郎寿司
平市公会堂通り 電五七六二
厚生医療 指定 病院
労災保険 指定 病院
肢体不自由者相談所
財団法人 竹林病院
院長 竹林貞吉
外科 整形外科 内科 小児科 皮膚科 泌尿器科 理学診療科 レントゲン科
本院 平市十五丁目十三番地 電話四二三・四二三番
分院 平市小太郎町十三番地 電話四一三三番
不動産売買・仲介評価貸家斡旋
公認 平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際 色川材木店内電二六一番
'62 SPRING 新装開店
2月3日(土)
春の婦人服が新装なつた
お店にイツパイです
三都屋改め ミヤヤ
平・2でんわ3720

文芸

「少年火星探検隊」を読んで

小名浜一中一年　土屋公英



夏休みの間、泳ぎまわってはかりいたぼくが、母や姉のすすめもあって、少し落ちついてみようと決心したのは、休みも終りに近ずいてからでした。しかし、まず本箱の整理から、と始まったばかりのぼくの心を大きくとらえてしまったのが、この少年火星探検隊です。

この本を父に買ってもらったのは、小学校五年生の時、元来冒険好きのぼくですので密林の中にとりのこされた三人の少年少女の前にくりひろげられる不思議な世界に興味をもって、一気に読んでしまったものでした。密林の中で、ぼうぜんと立ちつくす三人が、（そうあり）という気味の悪い動物におそわれるところや、たこの木にからみつかれるこころなどは、読んでいるぼく自身を密林の世界にものすごい力でひっぱっていきました。

ぼくは何度か、テッド、ランディと一緒になって苦しみ、なんども、安どの胸をなでおろしました。無事でよかった、ということと、二少年に対する強い感想でしたが、二年たった今、乱れた机の前で、いつのまにか読みおえてしまった時、ぼくがもっとも感動したのは、あのランディ・テッド・それに妹のジルの冒険だけにではありません。この物語を貫ぬいている友情。互いに励ましあい、たすけあって、遂には、今までなそとされていた火星人の遺跡を発見するまでに至ったテッドとランディの厚い友情に強く心を打たれました。

地球うまれのテッド兄妹と火星生まれのランディの結びつき。うらやましくさえ思われました。

人種や身分の差別を超越してこそ、本当の友情がある。ということを教えてくれています。美しい心というものは、どこに行っても、大切なねうちがあります。世界中の人々だれもが、テッド・ランディ・ジルのように勇気があり、美しい心をもっていたならば、もっともっと平和な世界になると思うのです。

この本は、そんなことを教えてくれているようです。そしてこの物語の作者、イーラムも必ず、それを実行してほしいと祈っていると思いました。またこの物語の中で大切な役割を果しているのは、ヤングです。ヤングとは、底なしのどろ沼に足をとられて苦しんでいたのをテッドとランディに助けられた金色のこぐまのことですが、舞台が広い宇宙だけに、緊張の連そくです。

そういう記者をヤングのひょうきんな動作は緊張から解放させてくれています。ボートに乗せてもらったヤングはテッド邪のとめるのもきかず、はしゃぎすぎて遂には冷たい水の中にんらく、金色の毛がまつ色にこおってふるふるふるえているヤングのようすには、ボートにひきあげたランディ邪でなくても笑ってしまうことでしょう。

この物語は火星の生物と地球の生物との交流を書いたものですが、宇宙時代の夜明けといわれている今は、単なる夢物語ではないと思います。こうしている今も、米ソの人工衛星が星のかがやくはるかな天空をまっしぐらに飛びつづいているのですから、ぼくは、はてしなく広い夜空をながめて空想をすることが好きです。

だから、テッドやランディたちと一緒になって宇宙船に乗り、弾丸よりも速く火星に飛ぶこともできます。地球はいつかは水がかれ切って月のように、ぼくには、人間の知恵はここまでも進んで、この物語の火星人のように地球を去って他の星に行くことになるのではあるまいかと思われてくるのです。

それにしても大切なのは人間同志の心のふれ合いだと思います。狭い地球の中で、人種の差別による争いをひき起こしているようでは、宇宙を完全に征服する夢は実現出きそうにないと思われました。地球全体が一丸となって、月にでも火星にでもぶつかっていったなら、案外早く実現の実が結ばれるのではないかと思います。

ぼくは、この日、予定した机の整理ごと出きませんでしたがぼく達にまだまだ欠けている協力と友情の大切なことを、この本により、あらためて、つよくつよく考えさせられました。

会員五千人を目標

ホステル　石城クラブ誕生

県教委主催のユースホステル地区講習会は二十日平二小で県内から会員約二十人のほか、県教委保体指導主事飯木晋兵衛、同主事家像辰雄両氏が出席して開かれた。講習会は両講師からユースホステル活動についての意義と目的、施策などについての講話があったあと、この活動を広く育成のためロツク活動を展開することになり「ユースホステル石城クラブ」を結成することになり、連絡事務担当者に伊東慶紀氏（平市役所商工観光課）を選出した。

この結成により同クラブとしては勝習、二、三百人の会員を広く募り、ホステル活動を推進することになった。なお現在県内には約百六十人の会員がいる。

県としては将来五千人の会員を目標として育成することになった。なお会員になりたい者は、平市役所商工観光課、交通公社平案内所に申し込めばよい。

一度の捜査も無駄

阿部さんの死体は不明

吾妻山で消息を絶った内郷市小島町大工阿部恒夫さん（三七）の第二次捜索は三十日から進められていたが、全然手がかりがつかめないまま一日で捜索を打ち切った。

第一次捜索は相ノ峰地内を中心に約六平方米を掘り、探っている古い雪の地点までいったが、手がかりとなるものはなかった。このため現場から四百米にわたり竹ザオで雪面をつきとおしながら遺体を捜したが、ついに発見できなかったもの。現場は野地温泉から八キロ、磐温泉から二キロ入った磐城、吾妻スカイラインの路上で、積雪五米以上もあり、風速十米の北西風に悩まされて捜索はかどらなかったという。これで捜索は打ち切り現場にあったスキーは高湯温泉の後藤さんが預かり、近く来福する弟の阿部信行さん（三）に確認させたうえで渡すことになっている。

連日不安の地元民

あす恒久防災策を陳情

双葉郡富岡町仏浜海岸は本年に入って二度にわたって高潮に襲われ堤防が決壊し去る十九日と二十五日の二回、チリ津波と三回も地元民は避難するなど不安におちいっているが昨一日も四回めの高潮があった。このつど、富岡土木事務所では水防団員や消防団員の出動をもとめ関係土建業者の協力のもとに蛇籠や土俵積で応急工事をすすめているが、つぎつぎに決壊個所が広がるが、つぎつぎに決壊個所が広がるので二百人の水防団員や消防団員、関係土建業者の協力のもとに蛇籠や土俵積で応急工事をすすめている